

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報

コロナに負けない砂金採りスピリッツ!

<ジュニア部門>
1位 依田晴貴
2位 吉井透湖
3位 若杉百峯

<男女一般部門>
1位 広瀬義朗
2位 野村敏郎
3位 中村軒一

<おもしろマイバン部門>
1位 本間 純
2位 中山元昭
3位 石田政明

<本気のマイバン部門>
1位 吉井孝直
2位 岡本康司
3位 平野 岳

大会結果!

団体戦風は開成チーム、西武学園文理 with 応援団、身延町役場チームで対戦!

KAIJI SEIBUGAKUENBUNRI MINOBU

博物館応援団によるパンニング講座にみんな夢中...★

< 結果 >

個人戦風	団体戦風
1位 永井友和	1位 西武学園文理高等学校with応援団
2位 大城威智	2位 身延町役場
3位 浅野優之助	3位 開成中学・高等学校

富士橋 —その過去・現在・未来がつながる現場を訪ねて

—第5回いでさんぼの成果から—

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 出月洋文

昨年(2019年)スタートの館長講座は、「峡南の考古学」のテーマのもと、湯之奥金山博物館の所在する峡南地域の歴史をランダムに切り取り、考古学的な視点を基軸にして、地域の皆さまと一緒に学び始めました。あわせて峡南地域の各地に出向き、歴史の現場を体感する館長講座アウトドア版としての「いでさんぼ」という試みも4回にわたって開催してきました。

前者の館長講座は、座学すなわち講義形式でありまして、基本的には一方通行のものとなります。それに対し後者の**いでさんぼ**は、双方向といえますか、同時進行的といえますか、現地におもむいての見聞が進んでいくなかで、自然と講師と受講者といった境界がなくなっていくものとなりました。

こうした博物館事業について、2年目となる今年に定着・発展の期待が大いにあったのですが、前号のこの欄でも触れた例の新型ウイルス感染症の世界的規模での拡大・深刻化により、人が集まるとはいけなく、密をなすとはいけない、という情けない状況に陥り、館長講座や**いでさんぼ**のみならず年間事業計画が、中止や延期ないしは大幅な縮小を余儀なくされてしまったのです。

そうこうして夏が過ぎゆく頃になって、いくぶん事態が好転を見せ、各地で、最大限の注

意を払いつつ、人が集まる事業が一定の枠の中で開催されるようになってきたのです。そこで当館でも館長講座と**いでさんぼ**の9月からの再開を決め、実施にこぎ着けました。

今回は、この9月26日(土)開催の第5回**いでさんぼ**は「身延線で鯉沢口駅まで・富士川をめぐる歴史に浸る小遠足」のテーマで、当該地域の過去と未来(近い将来)とをつなぐ現在の変わりゆく姿を追い求めましたので、その要点を書き残しておきたいと考えます。

とてもヘンなことですが、だいぶ以前から富士橋に興味をもっていました。鯉沢と黒沢という、江戸時代の富士川舟運に係る三河岸のうち2つの河岸跡を結ぶ富士橋こそが、歴史的な意味を持つ兩岸を結ぶ重要な交通インフラというだけでなく、過去と未来を結ぶ注目の現場といえるものでありました。

再開1回目の**いでさんぼ**は、その富士橋をメインとした小遠足とし、博物館から現地までの移動には、JR身延線の普通電車を使うことにしました。その訳は2つ、1つは密になる時間が避けがたい町有車両より、利用が落ち込みすいている電車が適当と考え、2として身延線の持続・活性化に貢献することもねらいとしました。

さて、テーマの富士橋ですが、最寄りの鯉



沢口駅から歩くこと30分弱、3連の下路式ワーレントラスが目印となっていますが、そこにこそ注目の歴史が刻まれていたのです。当日は、左岸側から歩いて渡りましたが、2つめまでのトラスと3つめのトラスとの違いを見つけ、その背景に大きな台風により何度も流失を繰り返してきたことが確認されました。もともと富士橋は木橋でしたが、1935年、1945年、1947年とそれぞれ9月に来襲の台風により流失を繰り返してきました。

1947年の流失後には流路部分について鋼製の2連トラスとして1950年に復旧しました。左岸側から2つめまでがそれで、大小の鋼製部材をリベットで繋ぎ組み上げた構造でした。これで永久橋化なると期待されたのですが、1959年の7号台風でトラス部の右岸寄りが洗掘され流失となり、翌60年に3つ目のトラスが架けられました。最初のトラスから10年を経て、構成部材に進化の跡が見られ、大まかに工場で作られたものを現場でリベット繋ぎをしたものになりました。**いでさんぽ**参加者は、この進化に興味をもたれ、いつもスウッと通過していた橋にこんな歴史が秘められていたのか、とわくわくでした。

さらにです。富士橋を渡り進む中で上流側に目をやると、河川敷にニョキッと建つコンクリート製橋脚が2つ、3つ。そう、それは新しい富士橋の建設が始まっていることの高確かなしるしでした。

この富士橋の架け替えについては、橋を所管する県のweb上の資料には、幅員が狭く大型車同士のすれ違いが困難であることや現行の耐震基準を満たしていないこと、富士川の洪水時の計画水位は現状の路面とほぼ同じで河川管理上、支障となっていることなどから、橋長300m余、4径間桁橋としていくことが、2015年度中から検討されてきていました。

いでさんぽで現地を訪れたときは、河川法の関係で工事は行われないう時期となっていました。まもなく出水期が終わると、工事が再開され、数年後には新橋が供用されてくることを目に浮かべての現地見学となりました。さらに新しい橋が完成するとほどなく、3連トラスを骨格とする現在の富士橋は解体撤去されていく運命も知り、近世の河岸で栄えた時代から近い将来のスムーズな渡河が実現するまでの歴史を感じてきたのでありました。

近世の河岸のことといえば、富士川は日本三急流の一つで舟運に適したものではなかったのですが、江戸の初めの京都の豪商、角倉了以が幕命を受けて富士川の改修に取り組みされたお陰で、今の富士橋の辺りから富士川河口近くの岩淵まで、下りは年貢米、上りは塩などを運ぶ大動脈となりました。この富士川による舟運、広く甲府盆地周辺の経済発展を支えた歴史もあって、角倉さんゆかりの、富士橋の近くにある富士水碑も併せ見学して、理解を深めたものとなりました。

館長講座 シリーズ「峡南の考古学」

2020年 第2回**10/25**(日) 南部氏の考古学①

第3回**11/28**(土) 南部氏の考古学②

※いずれも館内多目的ホール 13:30~15:00

いでさんぽ

2020年 第2回**11/7**(土)

身延駅から塩之沢駅まで

下部温泉駅13時48分の電車に乗り
身延線沿線の歴史探訪に出かけます

—コロナ禍のいつもと違う夏・2020活動報告—

全イベントにおいて、参加者の皆様には、受付シートへのご記入、マスク着用、入場前の消毒、検温、入場人数制限など、さまざまな面でご協力いただきました。

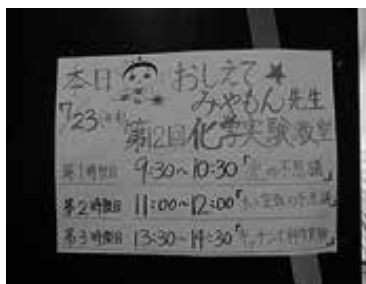
第12回化学実験教室

7月23日(木)

7月の4連休初日、「おしえて☆みやもん先生 第12回 化学実験教室」が開催されました。講師はおなじみ、開成中学校・高等学校の宮本一弘先生。

例年、一実験20人をゆうに超える大人気事業

ですが、今年は定員を15人までにし、偏光シートを使った光の実験、空気や水の性質を使った浮沈子の実験、水に1円玉を浮かべる実験など、「光」・「水」・「空気」・「キッチンの化学」をテーマに、7種類の実験をしました。



いつもどおり、参加した子どもたちは、目の前の課題に真剣に取り組みながら、化学の不思議を目の当たりにし、保護者からも驚きの声が上がりました。授業の合間に子どもたちに時折

投げかけられる宮本先生からの質問にも元気に答えていました。今年も宮本先生の授業で、化学を身近に感じながら理解し、楽しめる授業が展開されました。

砂金掘り大会ミニ&学校大会風ミニ

8月1日(土)



この日、当館一大イベントの砂金掘り大会は感染症対策から、規模縮小でミニ大会として開催、博物館応援団Au会、砂金掘り友の会、おっぱら自然体験センター、ダイドードリンコ株式会社、あおい商店、身延町役場若手有志など、多くの方々のお力添えをいただき、ソーシャルディスタンスを確保しつつ無事に、成功裡に終えることが出来ました。

例年200人が全国から集まり、また二日目には中高生らによる「砂金甲子園」も大盛況とな

るこの大会も、感染拡大の影響により「砂金甲子園」は事前に中止発表。そして規模縮小での開催となった当日は、事務局合わせて約50人に満たなかったですが、人数は少なくとも参加者の活気はいつもどおりで盛り上がりました。

また、砂金甲子園に代わって企画した「中高生のためのミニ大会」には、開成中高生の5人、そして西武学園文理高等学校から1人の参加、合計6人が、「いきなり個人戦」&「団体戦風」の2ゲームを行いました。

団体戦風では、開成vs利き手を封じられた応援団掘り師3人と西武文理VS身延町役場若手有志3チームによる試合が行われ、こちらも本

番さながらでありながら和気藹々とした勝負が繰り広げられました。ミニ大会結果は次のとおりです。

男女一般予選(10kg/10分 6粒)

順位	氏名	成績	総合成績
1	石田 政明	2.32 5	5.32
2	依田 貴司	5.55 6	5.55
3	野村 敏郎	6.17 6	6.17
4	中村 軒一	3.49 5	6.49
5	永井 友和	5.05 5	8.05
6	井村 智子	5.11 5	8.11
7	広瀬 義朗	5.11 5	8.11
8	近藤 直美	5.20 5	8.20
9	平野 岳	5.30 5	8.30
10	吉井 孝直	2.49 4	8.49
11	若杉 信也	9.04 6	9.04
12	若月 章弘	6.04 5	9.04
13	保坂 信一	6.15 5	9.15
14	岡本 康司	6.58 5	9.58
15	中山 元昭	7.42 5	10.42
16	梅木 進	8.10 5	11.10
17	中川 清	5.48 4	11.48
18	鶴岡 寛	6.45 4	12.45
19	若杉 史紀	9.47 5	12.47
20	渡辺 清人	7.04 4	13.04
21	大石 玲二	8.56 4	14.56
22	桑形 和樹	6.00 3	15.00
23	宮坂 隆志	6.44 3	15.44
24	本間 純	4.07 2	16.07
25	野村 綾子	7.54 2	19.54
26	岡田健太郎	9.01 2	21.01
27	名倉 悟	6.37 1	21.37
28	富田 雄介	10.00 2	22.00
29	野村 祐介	10.00 1	25.00

ジュニア部門(6kg/10分 9粒)

順位	氏名	time	採取粒	総合time
1	依田 晴貴	5.59	8	8.59
2	吉井 透湖	5.41	7	15.41
3	若杉 百峯	8	4	28



本気のマイバン(7分間/7kg 8粒)

順位	氏名	成績	総合成績
1	吉井 孝直	2.09 8	2.09
2	岡本 康司	3.48 8	3.48
3	平野 岳	4.15 8	4.15
4	中山 元昭	3.10 7	6.1
5	若月 章弘	3.40 7	6.4
6	渡辺 清人	5.04 7	8.04
7	吉井 透湖	5.33 7	8.33
8	依田 晴貴	3.42 5	12.42
9	広瀬 義朗	2.32 4	14.32
10	野村 敏郎	3.30 4	15.3
11	岡田健太郎	6.45 5	15.45
12	石田 政明	0.53 0	24.53

男女一般決勝(16kg/15分 平7,玉5=12粒)

順位	氏名	time	平	玉	採取粒	総合time
1	広瀬 義朗	6.09	6	5	11	9.09
2	野村 敏郎	10.20	6	5	11	13.20
3	中村 軒一	10.42	6	4	10	16.42
4	石田 政明	4.56	3	5	8	16.56
5	依田 貴司	12.06	7	3	10	18.06
6	井村 智子	8.18	3	4	7	23.18
7	永井 友和	7.45	4	2	6	25.45
8	近藤 直美	7.22	3	2	5	28.22
9	平野 岳	6.38	2	1	3	33.38
10	吉井 孝直	5.15	1	1	2	35.15

おもしろマイバン(7kg/7分 10粒)

順位	氏名	成績	総合成績
1	本間 純	6.09 10	6.09
2	中山 元昭	3.10 8	9.1
3	石田 政明	3.08 7	12.08
4	岡本 康司	3.31 7	12.31
5	野村 敏郎	4.21 7	13.21
6	井村 智子	5.34 7	14.34
7	野村 祐介	7.00 7	16
8	鶴岡 寛	7.00 7	16
9	岡田健太郎	6.48 3	27.48
10	富田 雄介	6.26 1	33.26

4年目の町民ウィーク

3町合併記念日の9月13日を挟んで町民の皆様様に無料開放期間をご提供させていただいている「町民ウィーク」も今年で4年目。特に今年は町民の方からお借りした、東京オリンピックの記念銀貨やその他記念メダルの展示、合わせて『山梨の遺跡発掘展2020巡回パネル展』(9月12日~22日)のエントランス壁面展示もあり、コロナ禍でもありながら、多くの町民の皆様が関心を向けてくださり、例年よりも賑やかに足を運んでいただけた町民ウィークとなりました。

9月13日~22日(火)



[秋冬の行事予定]

秋の遺跡見学会

～栃代金山チャレンジウォーク 再び～

新型コロナウイルス感染拡大を受け3月から延期となっていた、町内栃代地内にある栃代金山遺跡チャレンジウォーク。地元の方のご協力をいただきながら少しずつ調査をしてきましたが、この秋、チャレンジウォーク候補地として再登場。参加者募集中です。



◎期 日：令和2年11月15日(日) 9時30分出発～14時帰館・解散

◎集合場所：湯之奥金山博物館 ※現場までは公用車2台での移動となります

◎対 象：小学校高学年から大人まで(町内外一般) ◎定 員：10名(定員になり次第締め切ります)

◎申込み方法：当館までお電話ください。(0556-36-0015)

※新型コロナウイルスとインフルエンザ流行拡大の状況により、中止の可能性もありますが、予めご了承ください。

シリーズ★久間先生のモノづくり教室



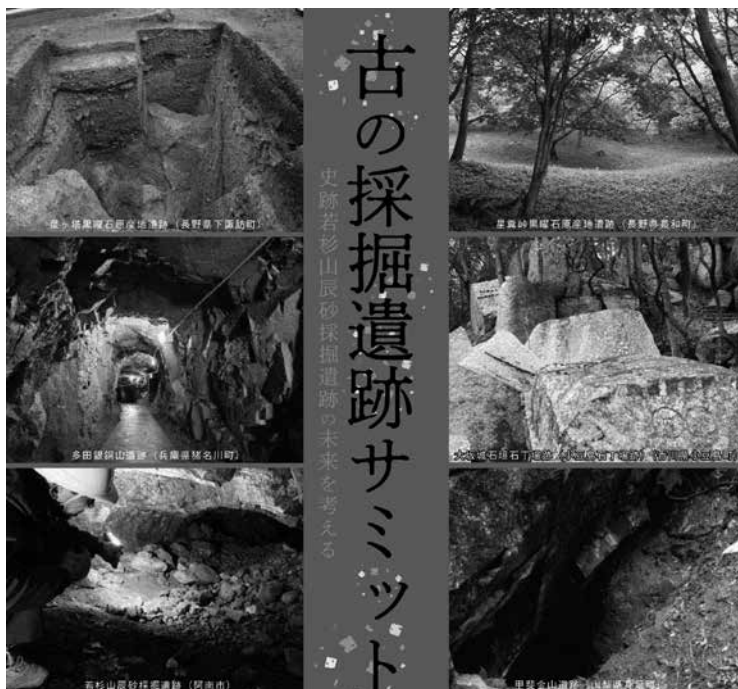
「モノづくり」の楽しさと大切さを学ぶ、親子でも楽しめるプログラム。冬の恒例教室「モノづくり工作教室」を開催します。講師を務めてくださるのは当館でお馴染み、鳥根県松江高専の久間英樹教授。わかりやすいご指導のもと、坑道探査ロボットを作ってみませんか。

◎期 日：令和2年12月6日(日) 13時～15時30分

◎参加費：2,000円～(材料費、キット代として) ◎対 象：小学校高学年から大人まで ◎定 員：6名

◎申込み方法：当館までお電話ください。(0556-36-0015) (定員になり次第受付終了)

「古の採掘遺跡サミット」に代表的発掘遺跡として参加します



期 日：10月17日(土)

13:00～17:00

(於 阿南市文化会館・夢ホール)

令和元年、国史跡に指定された徳島県の若杉山辰砂採掘遺跡(阿南市水井町)の保存と活用を検討し、阿南市のまちづくりに活かすための方策を探ろうと、国史跡の採掘遺跡がある全国の自治体担当者が参加するシンポジウム「古の採掘遺跡サミット」。シンポジウムでは、遺跡の概要と整備について全国5自治体の報告があり、その一コマに、当館も湯之奥中山金山遺跡を事例に挙げ、参加いたします。

新潟県・鳴海金山遺跡現地踏査レポート



このほど、山梨から車で約6時間ほど離れた鳴海金山に小松学芸員と見学に行ってきました。

大学を卒業して今年の4月に博物館に配属となった私は、新型コロナウイルスの影響で、今年度は金山現場へ行っていません。これまでも金山遺跡現場は、湯之奥金山の中山金山と茅小屋金山に一度ずつ、斑山金山の見学会に同行させていただいたことくらいしか経験はありません。そんな中、いきなり県外、それも新潟の金山へ赴く機会をいただいたので、少し驚きです。

さて、今回向かった鳴海金山は、新潟県村上市の東寄りやや北側、三面川支流の猿田川と高根川の源流に位置しています。新潟県は佐渡金山をはじめ、越後黄金山の金山群など多くの金山がありますが、鳴海金山はその越後黄金山のうちのひとつで、高根集落に位置することから「高根金山」とも呼ばれています。また、807年に相之俣弥三郎が発見したということから「相之俣金山」という呼称もあります。昭和43（1968）年、かつて旧朝日村教育委員会によって大規模な調査が行われ、27ヶ所の坑口や選鉱場が発見されました。

鳴海金山の鉱石はヒビや割れ目に入った粘土質の土の中に金が含まれているため、掘りやすく、鉱脈に沿った「ひ押し掘り」の跡が多く残っています。そのうちの「大千畳坑」と「大切坑」の2ヶ所の坑道は現在も見学坑道として公開されており、当時の手掘り跡を見ることができます。（※山深い豪雪地帯に位置する鳴海金山の現場は、「鳴海ゴールドパーク」という名前で、夏季のみ限定公開されていますが、開園状況は年ごとに異なるようなので、訪れる際には必ず事前の確認が必要です。）

登山道入り口から山中に向かい10分ほどで2つの

坑道がある現場に到着します。この日は、休業日だったので、管理人も誰もいませんでしたが、施錠された坑道がそこにありました。

山中で山道の草刈りに従事していた方に偶然出会い、鉱山白を見たことがあるか尋ねたところ、坑道前のテラスに石白が4つあることをご案内くださいました。きっとここを訪れる人なら誰もがみな知っているのだと思うほどに堂々とそれはありました。4つの鉱山白のうち3つは下白、ひとつは定形型の上白でした。直径32cmの小さめの下白だけかと思いきや、体験水槽と思しきところに鎮座していた下白は直径60cmの大型でした。しかし、いずれも鉱山白としては新し目に見えました。夏の終わりで、山中はまだまだ緑も生い茂り状況確認には決していい条件ではありませんので、深入りせず、周辺の露頭掘り跡などを確認しながら、来た道に戻りました。

下山してから、鳴海についての新しい情報でもないだろうかと、麓の「縄文の里・朝日奥三面歴史交流館」に立ち寄りました。過去に鳴海金山をテーマに企画展を開催しており、その資料をいただきました。村上市立朝日図書館にも立ち寄り、いくつかの書籍に、鳴海金山に関する記述があることを確認しました。その中で『山に生かされた日々 新潟県朝日村奥三面の生活誌』（1984）には、砂金採集を行っていた写真が掲載されており、そこには砂金採集に関わったであろう会社名が書かれていたので、もしかしたらこの会社に関わることを調べたら、鳴海金山の事がまた違う角度から少しわかる可能性もあるのではと思いました。

今後も遺跡現場の機会を作り見識を深めていきたいと思います。最後に、貴重な時間を割いて現場をご案内くださった吉谷様に深くお礼申し上げます。

（伊藤佳世）



「GET！GOLD&SILVERリターンズ☆」& 館内スタンプラリー「もーん父さんからの挑戦状」



パンニング皿から丸い純銀の粒が出てくると、お客様から喜びの声が聞こえてきます。砂金も嬉しいけど、大きい純銀の丸粒が出てくるとお子さんを中心に夢中になってパンニング皿を振っている光景が広がっています。この企画は、来年3月22日までのロングランで、体験室で常時開催中。これから金山博物館にお出でになるお客様も、ぜひ砂金採り体験にチャレンジしてみてください。

一方、常設展示を見ながら挑戦できる、学習型スタンプラリー「もーん父さんからの挑戦状」も好評開催中。

ゆるそうな印象を受けるネーミングですが、金山の歴史を勉強しなければ意外に難しいクイズが3問。このクイズをクリアして、スペシャルスタンプをGETできるか！？

小中学生対象ですが、大人の方もお申し出いただければ挑戦できます。楽しみながら金山の歴史に触れてください。

秋の交通安全運動2020出発式 於 身延山 9月25日(金)

身延山久遠寺本堂で厳かな雰囲気の中執り行われた今年の「秋の交通安全運動」。この日は、ドラマ「ゆるキャン△」で“犬山あおい”役を演じた箭内夢菜さんが1日警察署長に任命されました。出発式では、山梨県警マスコット「ふじくん」と、身延山の「こぞうくん」と共にもーん父さんも交通安全祈願と、交通安全を呼びかけました。



10月～6月までは冬時間です：午前9時～午後5時迄(受付は午後4時30分迄)
休館日：毎週水曜日(水曜日が祝日の場合はその翌日)

★★ご来館・ご入館にあたっての感染症拡大防止対策に伴うお願い★★

- ・必ずマスク着用でお越しください。
- ・受付時に個票へのご記入のお願いと、検温をさせていただきます。
- ・その他、咳エチケット、こまめな手洗い、館内設置の消毒液のご利用などのご協力をお願いいたします。

編集後記

いつもと違う夏が過ぎ去り、秋がすっかり深まっている今日この頃。

本紙活動報告で紹介したように、夏イベントは「化学実験教室」と「砂金掘り大会mini」は実施。名称変更して刷新を図った「激烈☆おやこ金山探険隊」は残念ながら中止としました。感染症拡大防止の観点から、今年は全国的に様々なイベントが中止になっていますが、こまめな「手洗いうがい」と「3密回避」を徹底して開催可能なイベントは何かを常に模索、状況を注視しながら、館運営に携わる全員が日常業務に励んでいます。

さて、「いでさんぼ」、「館長講座」もスタートしていますが、館内では砂金採り体験室イベント「GET GOLD&SILVER リターンズ☆」、常設展示室では「もーん父さんからの挑戦状！ゆるーいスタンプラリー」が大好評。秋のチャレンジウォークやモノづくり教室など、対策を徹底したうえで何がどのようにできるか、どうやって楽しんでもらえるか、今までは違う視点から物事を考えなければならぬ今年の秋冬なのです。